

CLOSE UP!

Home Care Service

在宅^{第4回} サービス



ヒューマンリソシア株式会社 ヒューマンライフケア新横浜

若いチカラで笑顔が増える 学生との交流で見た目も心も元気に

全国58拠点で介護事業を展開しているヒューマンリソシア株式会社の介護事業部門「ヒューマンライフケア」。

同社が2009年9月に横浜市にオープンした「デイサービス」では、学生ボランティアによる実習を兼ねたレクリエーションを通して利用者の意欲を向上させ、自立を手助けしている。



メイクとネイルが完成。「普段より表情が明るく、若々しい」とスタッフが驚くほど嬉しそうだ

介護と教育の 新たなコラボレーション

「ヒューマンライフケア」は、教育・人材・介護事業を展開するヒューマンリソシア株式会社で介護事業を担う部門であり、現在全国で58カ所を拠点に介護施設・事業所を運営している。

同部門はこれまで、「○○の湯」と称した人浴特化型デイサービスに力を入れていたが、「もっと変化のあるプログラムを」という利用者からの声を受けて、レクリエーションに工夫を凝らした「デイサービス」を展開中だ。2009年9月にオープンした「ヒューマンライフケア新横浜」では、利用者に喜んでもらえるよう、季節や地域をテーマ



ヒューマンライフケア新横浜

横浜市港北区鳥山町456-1
☎045-470-8377
<http://hlc.resocia.jp/about/base/shinyokohama.html>

にしたレクリエーションを毎月実施している。その一環として取り入れたのが、同社教育事業部門「ヒューマンアカデミー」と提携したレクリエーションだ。ヒューマンライフケアが運営する「デイサービス」に、ヒューマンアカデミーの学生を招き、ネイルアートやフラワーアレンジメント、音楽療法などを提供するという取り組みである。

同事業所では近隣にある総合学園ヒューマンアカデミー横浜校と連携し、レクリエーションとして利用者に提供している。

取材当日は、ヘアメイクアーティストやネイルリストをめざす学生が同事業所を訪れた。鏡の中の自分をうっとり見つめる利用者。学生も緊張がほぐれ、いつしか室



「きれいな色」と喜ぶ利用者。
おしゃれに対する興味は世代を超えて共通している



すっかり仲良くなった利用者と学生。
会話も弾み、ますます元気になれるようだ



「経歴豊富なスタッフが多いので、それを活かしてさまざまなレクリエーションを企画していきたい」と語る伊藤浩一管理者



スポーツ系学科の学生が訪れ、
利用者に体操を教えることも



男性利用者から「きれいになった」と褒められ、
思わずはにかむ



学生の表情はプロ顔負け。
単なる「交流」ではない真剣さも人気の秘訣

都道府県イベント開催で 変化のあるレクリエーションに

同事業所では、他にも独自のレクリエーションとして、月に1回、都道府県イベントを企画している。「前回は『沖縄』をテーマに、三線を弾き、おやつにはサーターアンダギーやちんすこうを提供するなどスタッフと知恵を出しました。普段は行く機会のない場所に旅行し

内には休み時間の教室のようなにぎやかな話し声や笑い声が満ちた。「若い世代と触れ合うことはもちろん、普段はできない本格的なメイクアップなどにより利用者の満足度は驚くほど向上します。機能訓練などの身体的な自立支援も必要ですが、こうした精神的な支援も重要です」と、同事業所管理者の伊藤浩一氏は話す。

メイクで前向きになれるのは女性ばかりではない。男性利用者も自らネイルアートに参加したり、女性利用者に声をかけ、記念撮影をしたりと終始笑顔が絶えない。「実施前は、男性利用者は退屈なのではという懸念もあったが、自分から率先して動き出すなどの変化も見られます」（伊藤氏）

双方にメリットのある ボランティア以上の交流

事業間連携について、同社では以前からその可能性に注目し、教育・人材事業間ではすでに橋渡しがされていた。したがって介護・教育事業間でもすぐに連携が実現したようだ。

ヒューマンアカデミーで学務責任者を務める野町真矢氏が「ボランティアだけで終わらないことが連携の強みです。学生側も実習として学ぶことが多く、プロとして必要不可欠なコミュニケーション能力の向上にもつながります」と言うように、事業所側だけでなく学校側にもメリットをもたらしている。趣向を凝らした取り組みや職員の工夫によって変化や刺激のある毎日を提供し、自立した生活を支援する同事業所。今後の動向にも注目したい。